

社会資本総合整備計画

中間評価書

令和05年08月31日

計画の名称	富士吉田市「富士の水資源浄化計画」その2（重点計画）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	富士吉田市													
計画の目標	下水道の整備を行ない、富士山の水資源の安全・安心を実現し、富士の麓の快適な暮らしを創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,200	A	1,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率の増加			
	下水道処理人口普及率	42%	43%	45%
	下水道処理区域内人口（人）／行政区域内人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 污水）	新設	富士北麓処理区（普及促進）	L=6.0km	富士吉田市	■	■	■	■	■	1,000		-	
	A07-002	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 污水）	新設	桂川処理区（普及促進）	L=2.0km	富士吉田市	■	■	■	■	■	150		-	
	A07-003	下水道	一般	富士吉田 市	直接	富士吉田市	管渠（ 污水）	新設	施設計画策定事業	効率的な事業実施のための計画策定	富士吉田市	■	■	■	■	■	50		-	
											小計							1,200		
											合計							1,200		

中 間 評 価

○ 中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

庁内関係課より評価員を選定し、中間評価を実施。

中間評価の実施時期

中間年度の翌年度（令和５年度）

公表の方法

ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率の中間年度目標値を達成し、地域住民の公衆衛生の向上を図った。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

下水道処理人口普及率については43%となっており、今後も未普及地域の積極的な整備が求められると考える。
下水道整備については人口密集地区など効率的なエリアを優先的に整備を進めていく。また、市の区画整理事業や道路改良工事に併せて下水道を布設するなど効果的に整備区域の拡大を図っていく必要がある。
さらに、PR活動等を積極的に実施し供用開始区域の水洗化の向上を図り、整備した施設を有効活用してもらうよう努めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	中 間 目標値	43%	
	中 間 実績値	43%	